

あおぞら

66
令和元年8月
発行

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険田川病院 広報誌

地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
開放型病院
開放型病院
基幹型臨床研修病院
基幹型臨床研修施設（医師）
管理型臨床研修施設（歯科医師）
日本医療機能評価機構認定病院



■社会保険田川病院 診療医案内

診療受付時間 / 8:30～11:00（急患はこの限りではありません）

令和元年8月1日現在

診療科			月	火	水	木	金	土
内科	消化器	新患	板野 晋也	向坂 健秀	相野 一	佐々木 優	大園 太貴	交代で診察
		新患・再来	渡邊 優征	—	—	渡邊 優征	—	
		再来（予約）	前川 隆一郎	佐々木 優	板野 晋也	大園 太貴	相野 一	
	呼吸器	新患・再来	吉富 宗重	—	小田 華子（非常勤）	吉富 宗重	坂崎 優樹（非常勤）	
		新患紹介	—	向野 達也（非常勤）	—	—	—	
	循環器	新患・再来	柴田 龍宏（非常勤）	翁長 春貴	大塚 昌紀（非常勤）	翁長 春貴	柴田 龍宏（非常勤）	
科	内分泌 糖尿病	新患・再来	安田 淳一	花島 正治（非常勤）	中村 慎太郎（非常勤）	安田 淳一	安田 淳一	元谷 実里（第1,3,5）（非常勤） 阿部 圭希（第2,4）（非常勤） 山下 真（第1,3,5）（非常勤）
			—	曾我 理香	曾我 理香	—	曾我 理香	
小児科		新患・再来	安田 亮輔	安田 亮輔	安田 亮輔	石井 隆大（非常勤）	安田 亮輔	安田 亮輔
外科		新患・再来	田中 裕穂	弓削 浩太郎	田中 裕穂	吉田 武史	木崎 潤也	木崎・弓削・吉田 （交代で診察）
		再来（予約）	高橋 龍司	川本 祐輔	堀尾 卓矢	中山 剛一	—	
		乳腺専門	新患・再来	—	—	—	高橋 龍司	
整形外科 （注）土曜日の受付は10:00まで		新患・再来	吉川 英一郎	吉川 英一郎	菊地 慶士郎	吉川 英一郎（第1,3,5）	吉川 英一郎	交代で診察 ※受付は10時まで。
			菊地 慶士郎	菊地 慶士郎	不動 拓真	不動 拓真（第1～4）	不動 拓真	
			—	久能 義史（非常勤）	—	大学医師（非常勤）	—	
脳神経外科		新患・再来	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	休診	川場 知幸 ※土曜日は新患の受付はありません。
産婦人科		新患・再来	藤井 毅	河野 雅法	黒松 肇	桃壽 正啓	藤井 毅（第3,4） 河野 雅法（第1,2,5）	休診
		産科（予約）	河野 雅法	黒松 肇 助産師外来	藤井 毅 助産師外来	助産師外来	桃壽 正啓	
		婦人科（予約）	黒松 肇	桃壽 正啓	桃壽 正啓	藤井 毅 河野 雅法	黒松 肇	
泌尿器科		新患・再来	宮島 次郎	宮島 次郎	綾塚 仁志（非常勤）	宮島 次郎	宮島 次郎	休診
		紹介患者	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	
皮膚科		新患・再来	御厨 賢	御厨 賢	辛島 正志（非常勤）	御厨 賢	御厨 賢	休診
形成外科		新患・再来	森 成一郎	森 成一郎	森 成一郎	休診	森 成一郎	森 成一郎
耳鼻咽喉科		新患・再来	佐野 仁紀	佐野 仁紀	佐野 仁紀	休診	佐野 仁紀	佐野 仁紀
			大学医師（非常勤）	大学医師（非常勤）	小野 剛治（非常勤）		大学医師（非常勤）	大学医師（非常勤）
眼科 （注）受付は9:30～11:30まで		新患・再来	休診	大学医師（非常勤） ※火曜日は紹介患者のみ	大学医師（非常勤）	休診	大学医師（非常勤）	休診
歯科口腔外科 （注）平日午後13:30～15:00受付（紹介のみ） 但し木曜日の午後は休診		新患・再来	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	交代で診察
			坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎	
			永田 和也	永田 和也	永田 和也	永田 和也	永田 和也	
			—	—	塚本 秀行（非常勤）	久保田 貴倫子（非常勤）	—	
精神科・メンタルヘルス科		新患・再来 （完全予約制。新患の方は紹介状が必要です。）	加藤 隆郎（非常勤）	休診	大島 勇人（非常勤）	小林 雄大（非常勤）	沈 龍佑（非常勤）	休診
緩和ケア科		新患・再来 （完全予約制）	田中 裕穂 柳瀬 豊	—	田中 裕穂	—	—	—
放射線診断科		読影（診療なし）	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	—
放射線治療科		新患・再来	—	—	江藤 英博（非常勤）	—	宮田 裕作（非常勤）	—
麻酔科		手術（診療なし）	柳瀬 豊	柳瀬 豊	—	柳瀬 豊	柳瀬 豊	—
健診		—	金子 真也 月脚 克彦（非常勤）	金子 真也 和泉 洋一郎（非常勤）	金子 真也 植山 敏彦（非常勤）	— 前川 隆一郎	金子 真也 月脚 克彦（非常勤）	—
老年内科		療養病棟専従（診療なし）	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	—

（注）歯科口腔外科の診療受付時間 平日（午前）8:30～11:00（午後）13:30～15:00
※ただし、午後の受付は紹介患者さんのみ。また、木曜日の午後については手術のため休診とさせていただきます。
（注）眼科の診療受付時間 9:30～11:30までです。また、火曜日は紹介患者さんのみの診療といたします。
（注）整形外科の診療受付時間 土曜日のみ 8:30～10:00までです。（それ以外の曜日は11:00まで）
（注）緩和ケア科は完全予約制です。（診療時間 9:00～11:00）
（注）助産師外来は完全予約制です。（診療時間 9:00～16:00）

■診療受付時間 8:30～11:00（急患はこの限りではありません）
■時間外診療 時間外に来院される場合には、必ず事前に電話連絡し、診療出来るか否かを確認のうえ来院してください。緊急を要する患者さん優先のため、場合によってはお断りする場合がございます。※小児科については、時間外、及び休日の診療は行っておりません。
■面会時間 平日／午後2:00～午後8:00まで、日曜・祝日／午前11:00～午後8:00まで
■書類確認・予約変更 お電話は、平日／午後2:00～午後5:00、土曜／午前8:30～午後12:30まで

満足、安心、信頼を持たれる病院をめざし、
地域社会、地域住民に良質な医療を提供する。

- 医療理念
1. 患者中心の医療
 1. 医療の質の向上
 1. 地域社会にあった手づくりの医療
 1. 安心と信頼を持たれる病院づくり
 1. 経営の安定と職員満足度の向上

社会保険田川病院 広報誌

あおぞら

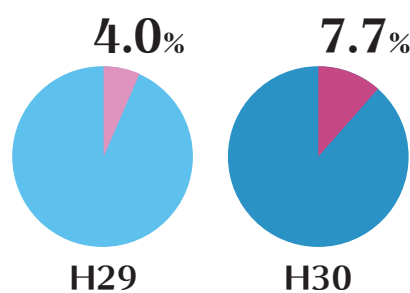


ぶるたん

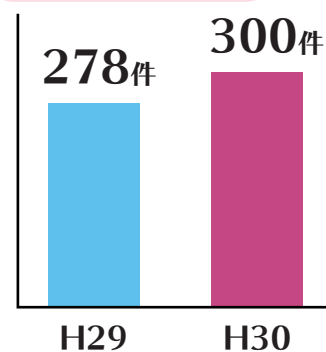
vol.66 2019年8月発行

●編集発行 社会保険田川病院 広報委員会 経営企画課
〒826-8585 福岡県田川市上本町10-18 TEL 0947-44-0460 FAX 0947-45-6540
（地域医療支援センター）TEL 0947-44-0474 FAX 0947-44-0559
URL <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/> Email syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

院内助産所「結」で 出産された方の割合



出産総件数



数字で見る院内助産

平成29年から始まった院内助産。翌年の平成30年と比べてみると、院内助産所「結」を利用された方、初産の方の割合が増えてきているのがわかります。

院内助産所「結」を利用された方の 初産・経産の割合



院内助産所「結」 ～それぞれの目線から～

平成29年4月に新しく開設された院内助産所「結」。医療設備の整った病院での安心感のあるお産と、助産院での自然でアットホームなお産の両方の良さを兼ね備えた「結」は、今では当院を代表する施設の一つとして確立しています。今回改めて院内助産所「結」についてご紹介させていただくと共に実際にご利用いただいた方や助産師、また医師からの声をお届けしたいと思います。



助産師外来について

当院では、医師による妊婦健診と助産師による妊婦健診「助産師外来」を行っています。医師による妊婦健診と同様に体重、血圧測定、尿検査、超音波検査などを行い、母児の健康状態を観察して、正常に経過しているかを確認します。「助産師外来」ではおひとりの時間を30分程度とっており、妊娠に伴うお母さんの心と身体の変化や、母親になるための心構え、赤ちゃんを迎えるための準備などについて助産師がきめ細やかに対応します。お産に関する不安を解消し、前向きに臨めるようお手伝いいたします。

助産師外来 4週間に1回
(12週～15週)

助産師外来 4週間に1回
(16週～19週)

医師による健診 (20週頃)

助産師外来 2週間に1回
(24週～27週)

医師による健診 (30週頃)

助産師外来 2週間に1回
(24週～27週)

医師による健診 (36週頃)

助産師外来 1週間ごと
(37週・38週・39週)

医師による健診 (40週以降)



院内助産とは

緊急時の対応ができる病院で、分娩を目的に入院する妊婦さんに対して、助産師が中心となって分娩介助やケアを行うシステムです。より自然なお産を迎えられるよう、助産師が「助産師外来」にて妊娠中から身体づくりや心の準備をお手伝いいたします。条件が揃えば、和室でのフリースタイル分娩(自由な体勢でのお産)や、パートナーだけではなくご家族の立ち合いも可能です。

ご利用について

自分らしいお産や、より自然で安全なお産をするためにはご自身の健康管理が大切です。院内助産所「結」のシステムや妊娠分娩に伴うリスクについて助産師・医師から説明を受けたうえで、妊婦さん自身及びご家族が、十分にご理解、ご納得されたうえで同意書を提出していただいています。同意書を提出された後にお気持ちが変わった場合は、いつでも医師立ち合いのお産に変更することが可能です。またご利用にあたっての別途料金は発生しません。

ご利用できる方

- ① 妊娠経過が正常である
- ② 妊婦さん及びご家族の同意がある
- ③ 単胎で経膈分娩が可能と判断されている
- ④ 妊娠37週0日から41週6日の分娩である
- ⑤ 現在治療中の疾患がない
- ⑥ 宗教上の問題による分娩への支障がない

以上の基準を満たさない場合でも、医師と相談し許可があれば利用できる場合があります。また、妊娠経過に異常が予測される場合には医師の診察を受けていただき、状況によってはご利用をお断りさせていただくことがあります。

助産師のケア内容

助産師が院内助産で行う妊産婦さんへのケアは左表の通りです。妊娠・出産後に伴う心身の変化に関する悩みや、マイナートラブルに関するご相談のり、日常生活におけるアドバイスをいたします。



妊娠中

- ・助産師外来での妊婦健診
- ・お産に向けての身体づくり(ひとりひとりに合った方法を一緒に考えます)
- ・お産に向けたバースプランの作成

分娩

- ・バースプランに沿ったお産を迎えるためのケア
- ・正常に経過しているかどうかの観察
- ・リラックスした環境づくり
- ・楽な姿勢や痛みを和らげられるようなケア
- ・分娩介助(正常経過であれば医師は立ち合いません)
- ※分娩介助は、病棟助産師・看護師と協働して、院内助産担当の助産師が行います
- ※和室もしくは分娩台でのフリースタイル分娩が可能です

退院まで

- ・褥婦と新生児の観察
- ・病棟助産師による乳房マッサージ・授乳介助

退院後

- ・赤ちゃんの体重増加や黄疸のチェック
- ・ママのおっぱいの状況をフォロー

院内助産 助産師の目線から



谷口 ゆかり助産師
アドバンス助産師※
助産師歴 9年目

院内助産 医師の目線から

妊産婦さんのメンタルヘルスケアの重要性が学会などで現在注目されており、調査やケアが進められています。その中で、助産師外来などを通じて、助産師が妊産婦さんと関係を深めることは非常に有意義であると思っています。

産婦人科医長 藤井 毅

当初は経産婦さんのみの受け入れでしたよね？
そうですね。基本的に助産師外来などでお話をして、初産婦さんだけでなく自分で主体的に妊娠中の自己管理や身体と心の管理ができそうな方に院内助産を紹介しています。ご家族と相談していただいてからお返事をいただくようになっています。初産婦さんの申し込みが増えていますが、みなさん自己管理などを主体的に頑張りたい！という気持ちで申し込んでいただいていますので、その分私たち助産師もそれぞれのバースプランが叶えられるように妊娠期の内から助産師外来での保健指導や身体と心のケアを通して関わりを持たないといけないと思います。

院内助産所「結」ができた当初と現在で、何か変化はありましたか？
初産婦さんで「院内助産でお産をしてみたいな」という声が増えていきます。実際に初産婦さんの院内助産での申し込みが増えている状況です。初産婦さんの場合、お産の経過が長いので寄り添う時間がたっぷりあります。時間をかけてお産に関わることになるので、本人さんとご家族さんだけでなく私たち助産師の達成感もひとしおです。
あとは、当初と比べて判断力がついてきたと思います。元々こうなったら医師を呼ばなければならないという基準はありますが、そこに当てはまらないときどうするか、ということをやより深く考えるようになりました。あれでよかったのかな、こうしたほうがよかったのかな、といった自問自答や悩みはこれからも尽きないと思います。

院内助産 利用者の目線から



三浦 佳織さん
初産婦 令和元年6月16日
院内助産所「結」にて出産

院内助産所「結」をどういったきっかけで知りましたか？
妊婦健診などで病院に来た際にボード（掲示板）に掲示されているのを見て、そいつうものがあるんだなと思いました。実際の内容は、先生と助産師さんから院内助産という出産方法もあると聞いて知りました。
「結」での出産を選ばれた理由はありますか？
順調に経過していたのもありますし、お医者さんだとずっとついてお産の経過をみるというのはなかなか難しいと聞いたので、助産師さんがつきつきりみてくれるというのは安心できるかなと思いました。それと基本的に注射や切開などの医療行為をしないで自然な形で出産できると聞いて、できればそういったことをしないで産めたらと思って選びました。
医療行為を基本的にしないということが不安に感じることはありませんでしたか？
自分で頑張ってみて、どうしても自然な形で出なければお医者さんが駆けつけてくれるという話だったので、自分ひとりで頑張らなければいけないということではなかったで不安ではなかったです。実際に私は、頭が出かかっているのになかなか出なくて、入口のところも自然に切れなかったで、助産師さんがお医者さんに連絡してくれました。結局は切らずに何とか出てきたのですが、そいつうたときにすぐお医者さんと呼んでくれて、切ったりなどの対応ができることに安心しました。
「結」ではどんなスタイルで出産しましたか？
ビーズクッションと産み綱があつて、普通の陣痛中はビーズクッションを使って楽な体勢を取ったりしながら、ころころ姿勢を変えていました。
ご家族の方が付き添ってのお産でしたか？
産むときは夫だけ部屋に入ってもらって、陣痛中もずっと付いてくれていました。水分補給や栄養補給などを手伝ってもらって、助けてもらったなと思います。普通のお産だと私は分娩台に乗って

夫は立ったまま何もできないけど、和室だとすぐ助けてもらえるので一緒に頑張ったと感じることができました。
どういったバースプランを立てましたか？
基本医療行為なしということ、立ち合いをしたいこと、分娩台の上で上手にいきめるか、どんな風になるのか自分自身でもわからないので、好きな体勢になれる和室がいいこと、初めての産なので出産中に今どういった状態なのかを教えてくださいとバースプランに書きました。
バースプランは実現しましたか？
医療行為が全くない状態で産めて、立ち合いもできましたし、生まれてすぐ抱いておっぱいを吸わせることもできたので、バースプランに書いたことは基本全部できたかなと思います。
「結」で出産してみて感想はありますか？
出産して初日に赤ちゃんの頭血腫ができていて別の病院に緊急で搬送されたので、数日間赤ちゃんに離れる機会があったんです。赤ちゃんが戻ってくる間に母乳が出るまでのケアをしてくれて、戻って来てからはおっぱいをあげる方法などを全部指導してくれました。お産のときもすぐ助けてくれました。お産後、退院までのケアや母乳のケアなどもしてくれてすごく満足しています。



院内助産所「結」で生まれた
みずき
三浦 瑞揮くん

院内助産所 結 -ゆい-

お問合せ：社会保険田川病院 産婦人科 Tel 0947-44-0460

妊婦健診や分娩介助はアドバンス助産師※が行います。
アドバンス助産師とは、分娩介助100例以上、妊婦健診200例以上の経験に加え、新生児蘇生法や分娩監視装置に関する研修受講を修了して日本助産評価機構により認定された助産師です。





医療法人鷹ノ羽会 村上外科病院

【住 所】 福岡県田川市魚町12-5
 【TEL/FAX】 0947-44-2828 / 0947-45-8360
 【診療科】 内科 / 外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 放射線科 / 麻酔科 /
 リハビリテーション科 / 胃腸内科 / 肛門外科
 【診療時間】 月～金 9:00～12:30 / 14:00～17:30
 土 9:00～12:30
 【休 診 日】 日曜・祝日

第7回

社会保険田川病院と私の関わりは、私の郷里が田川市であったため久留米大学医学部4年生の夏休みに病院見学をさせていただき、卒業後インターンを社会保険田川病院で受けたことに遡ります。その後、久留米大学第一外科に入局。4年間の医局生活の後、社会保険田川病院に就職し、初代院長重森仙蔵先生、柳瀬靖先生と3名で昼夜を問わず外来・入院・手術に当たり、多くのことを学ばせていただきました。私の医療の原点はここにあると考えております。

それから4年後に田川市魚町の現在地に村上外科病院を開業致しました。開業してからは胃切除術・大腸切除術・虫垂切除術・鼠径ヘルニア根治術など主として腹部内臓疾患の手術を行っていましたが、現在は息子村上秀孝が後継者として頑張っており、主として整形外科手術を行っています。

社会保険田川病院時代に特に感謝したいのは麻酔科の勉強です。その時代にはまだ麻酔科としては確立されておらず、手術中および術後の管理等に苦慮することが多々ありました。当時院長であった重森先生にお願いして、週1回久留米大学麻酔科に通わせていただきました。今から約55年以上前でしたので交通手段も主として鉄道列車でした。久留米に

行く時は前日よりタクシーを予約し、冬は星空のもと病院の社宅を出て新飯塚駅より列車に乗り久留米大学麻酔科に通いました。若さゆえに出来たことと思います。しかし、この麻酔科の知識がその後外科医として生きていく上で非常に役立ったと思います。

いまわが国は高齢社会となり、手術対象者も高齢と同時に心疾患、肝腎疾患、コントロール不良な糖尿病などの合併症をもった方が多く、総合病院での手術が適応と考える時は、社会保険田川病院にお願いしております。

社会保険田川病院は田川地区の中核病院として私共が頼りにしている病院です。医療情勢の厳しい中ですが、田川院長を筆頭に地域医療を支えてください。



理事長 村上 直秀



地域医療連携懇話会 開催

7月10日(水)、第7回地域医療連携懇話会を開催。この会は地域医療機関の先生方との交流を深め、更なる医療連携を推進するために年に1回開催しています。懇話会は終始賑やかな雰囲気、顔の見える関係を築くことが出来たと思います。



ふれあい看護体験 開催

7月10日(水)、ふれあい看護体験を開催しました。西田川高校より3年生5名が参加し、制服から白衣に着替えて看護師と共に様々な体験をしました。将来皆さんと一緒に仕事できる日が来るのを楽しみにしています！



ふれあい講座 開催

7月27日(土)、『ふれあい講座(市民公開講座)』を開催しました。24回目となる今回は「ご高齢者がかかりやすい感染症とその予防方法」と題して、当院の先端感染管理認定看護師が講師を務め講演させていただきました。当日足を運んでくださいました皆さま、ありがとうございました！



緩和ケア研修会 開催

7月13日(土)に『第11回社会保険田川病院緩和ケア研修会』を開催しました。当院は「地域がん診療連携拠点病院」として毎年この研修会を開催しており、今回は院内外から医師8名、メディカルスタッフ10名の総勢18名が受講し、6時間以上にわたって緩和ケアの基礎について学びました。

◆患者さん満足度調査を行います◆

より良い病院を目指すためには、ご利用いただいている患者さんのご意見は重要なものです。右記期間で患者さん満足度調査を行います。

皆さんにお寄せいただいたご意見は院内の患者サービス委員会で検討し、より良いサービスを提供するために活用させていただきます。

皆さんのお声をお聞かせください。ご理解とご協力をお願いいたします。

●入院患者さん満足度調査
9月1日(日)～10月31日(木)
までの2ヵ月間

●外来患者さん満足度調査
9月10日(火)～10月11日(金)
の2日間



お知らせ

トピックス